

製品・サービス動向-国内

■シスコシステムズ：マイク内蔵の 4K Ultra HD カメラ「Cisco Webex Desk Camera」を
発表

(5月19日)

シスコシステムズ合同会社 (https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html) (東京都港区) は、5月19日、マイク内蔵の 4K Ultra HD カメラ「Cisco Webex Desk Camera」を発表した。シスコ販売パートナーからの提供のほか、Amazon で予約販売を開始する。



Cisco Webex Desk Camera (シスコシステムズ)

Cisco Webex Desk Camera は、4K Ultra HD (1300 万画素) に対応し高解像度で細部まで鮮明に映し出すことが可能で、81 度の幅広い視野角であるため、会議室などで複数人でも映像に入れる。また、iHDR 機能による自動光調整で暗い場所でも明るい印象を届けられる。加えて、マルチポイントオートフォーカス機能で常にはっきり、くっきり、迅速かつシャープにフォーカスするようになっており、デジタル 10 倍ズームにも対応している。

マイクにはノイズキャンセリング機能を内蔵しており、背景ノイズが気になる環境でも会話の音質を保つ

特徴がある。

製品ボディにはアルミニウムが使用され、高い意匠性で高級感あふれるデザインが特徴という。本体は USB 経由で PC に簡単に接続できるほか、外部モニター、三脚にも取り付けることができるようになっている。

■ロジクール：法人向け・AI 搭載の USB 対応
ホワイトボード用カメラ「ロジクール
Scribe」発売

(5月26日)

株式会社ロジクール (<https://www.logicool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区) は、法人向け・AI 搭載のホワイトボード用カメラ「ロジクール Scribe」を 5 月 26 日に発売する。



左：オフィスでの使用イメージ、右：リモート参加者の画面イメージ

ロジクール Scribe (ロジクール)

ハイブリットオフィスの導入やオンライン授業の普及が進むにつれて、既存のホワイトボードの板書や付箋を対面参加と同じようにリモート参加者にもクリアに共有したいというニーズが高まっているという。

今回発表された、ロジクール Scribe は、ブレインストーミング、授業、チームミーティングなど、部屋の

中でも遠隔地でも誰もがホワイトボードを完全に見ることを可能にする、ホワイトボード用カメラ。

最大で幅 2m x 高さ 1.2m のドライイレース面を撮影できるので、リモート参加者にもホワイトボードの内容をクリアにリアルタイムで届け、生産性を高めることができる。

加えて、AI によって、ホワイトボードに書く手や人を透過し、マーカーの色を自動的に強調するので、リモート参加者はホワイトボードの内容をクリアに見ることができる。付箋など非デジタルコンテンツも検知が可能。

ロジクール Scribe は、USB コンテンツカメラとしてほぼ全てのビデオ会議アプリケーションに対応し、「Microsoft Teams Rooms」「Zoom Rooms」では、同梱のワイヤレス共有ボタンを押すことで、ホワイトボードの内容をデジタルデータで簡単にコンテンツ共有を開始できるようになっている。

参考価格は 168,000 円 (税込)。本体カメラに加えて、ワイヤレス共有ボタン、取り付け部品 (本体は壁掛け式)、電源、カテゴリケーブルが全てセットになっているので、設置や使用開始がスムーズで、大規模な展開も可能となっている。

ロジクールによると、これからも Scribe のように、人々がより自然な方法でデジタルの世界とつながることを容易にするコラボレーションツールを提供している。

■ワークスマイモバイルジャパン：ビデオ通話機能強化など新たに「LINE WORKS」のバージョン 3.1 をリリース

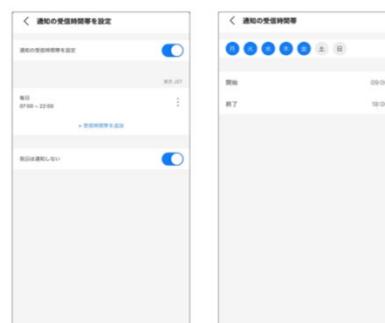
(PRTIMES：5月27日)

ワークスマイモバイルジャパン株式会社 (<https://line.worksmobile.com/jp/>) (東京都渋谷区) は、新たに「LINE WORKS」のバージョン 3.1 をリリースしたと発表。

コロナ禍で働き方が大きく変化したことで潜在的に存在していた LINE WORKS の改善要望が顕在化してきたという。そこで本メジャーアップデートでは、これまでに寄せられたユーザーからの要望を整理し、今の働き方に求められている機能追加および機能改善を行った。

バージョン 3.1 の主な改善点は以下のとおり。

(1) 通知を自分仕様にカスタマイズ：シフト制の勤務など就業時間や休日の曜日が異なる勤務体系の人たちが一緒に働く職場などに最適な機能。トークやノートの投稿などの通知を受信する時間帯を曜日単位で柔軟に設定できるようになった。また、祝日の通知を一括でオフにするオプションを設けたほか、ホーム (掲示板) やノートの投稿および修正時の通知において、重要度や緊急度に応じて投稿者がトークでの通知を行うかどうかを都度選択できるようになった。



例：平日9:00~18:00は通知をオンに、土日祝日を終了オフにした場合の設定

通知の設定画面 (ワークスマイモバイルジャパン)

(2) 音声/ビデオ通話機能の強化：在宅ワークが増えたことで顕在化したニーズに合わせた機能強化で、参加者同士の情報共有が容易になったのがポイントのひとつ。リモートからスマートフォンでビデオ会議に参加するメンバーへの画面共有を実現しているほか、ビデオ会議の間に参加者に説明資料やテキストメッセージを送信する場合にも、スムーズに参加者の集まるトークルームに移動できるよう UI を改善した。その他、ビデオ通話中に自分の背景をぼかす機能、ビデオ会議を一括終了する機能なども追加された。



ビデオ通話中に自分の背景をぼかす機能を追加

背景ぼかし機能（ワークスマイルジャパン）

(3) ユーザビリティの向上：メンバーの状況（ステータス）が表示される箇所を追加した。アドレス帳や予定作成画面、トークルームのメンバー選択画面のいずれにおいても、メンバーの状態（取り込み中・離席中・時間外・不在）が表示されるようになった。また、翻訳機能において、これまでの英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）・フランス語・スペイン語に加えて、新たにベトナム語・タイ語・インドネシア語の3言語が追加された。トークやホームなどで日本語の通訳・翻訳がさらに便利になった。



アドレス帳

予定作成画面

トークルームのメンバー選択画面

メンバーのステータス表示（ワークスマイルジャパン）

ワークスマイルジャパンによると、ほかにもバージョン 3.1 では、既存サービスの機能改善や安全性の強化を含め、多くの機能改善を盛り込んでいるという。

■ガモウ関西：各種カウンセリングに対応した、美容室専用のビデオ会議ツール「salon talk（サロントーク）」をリリース、カットイメージやヘアカラーシュミレーションも可能

(PRTIMES：5月18日)

株式会社ガモウ関西 (<https://gamo-kansai.jp/>)（京都府京都市）は、美容室専用のビデオ会議ツール「salon talk（サロントーク）」をリリースする。

Salon talk とは、ガモウ関西が開発した美容室専用のビデオ会議ツール。カウンセリングルーム（ビデオ会議室）の URL を作成し、その URL を相手に伝えるだけですぐに誰でもオンラインカウンセリングを行えるようになっている。



salon talk の活用シーン（ガモウ関西）

美容室用に最適な機能も搭載している。ひとつはカットイメージの共有。お客様のビデオ画面のスクリーンショットを撮り、画面中央のホワイトボードに貼り付けることが可能。貼り付けた画像にペンで線を自由に描けるようになっている。



イメージ共有機能（ガモウ関西）

また、ミルボン社の「HAIRCOLOR & MAKEUP

SIMULATOR」との連携が可能で、お客様のビデオ画面のスクリーンショットを美容師側の端末に保存し、その画像をヘアカラーシュミレーターに貼り付け、その画面を salon talk 上で共有することで、ヘアカラーシュミレーションも可能となっている。

アプリのダウンロードやユーザー登録は一切不要。通信は、サーバを経由する方式ではなく P2P 方式のため利用者間のみで音声通話や映像、メッセージの送受信を行う。

新型コロナウイルスの影響で、美容室での滞在時間を減らしたい」と感じるお客様は約 7 割という結果が出ているという。施術前のカウンセリングでは、美容師とお客様が会話する時間も長くなり、不安を感じるお客様もいるのではないかと同社では考える。

そこで、salon talk では、施術前のカウンセリングをお客様が来店する前にオンラインで済ませておき、来店時のカウンセリング時間の削減、結果として滞在時間の削減にもつなげることができるという。それ以外にも、美容室の訪問間隔をできるだけ伸ばしたいお客様向けのアフターカウンセリング（訪問～次回訪問までの期間におけるカウンセリング）や美容室への訪問を控えている既存のお客様へのホームカウンセリングに salon talk を活用することで、コロナ禍においてもお客様との関係性を深めることができるとしている。

提供開始は 6 月下旬を予定。利用料金は 0 円（2021 年 12 月まで。2022 年 1 月以降については別途案内としている）。

製品・サービス動向-海外

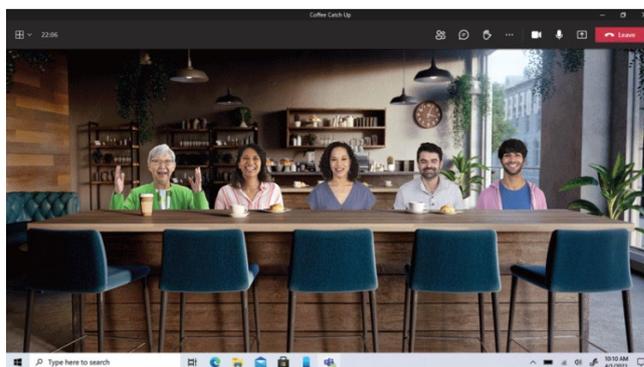
■マイクロソフト社：個人向け「Microsoft Teams」を全世界で提供開始

（日本法人抄訳発表：5 月 18 日）

マイクロソフト社(<https://www.microsoft.com/ja-jp>)（米国・ワシントン州）は、5 月 18 日、家族や友人などの使用に最適化された個人向け「Microsoft Teams」をデスクトップ、モバイル、ウェブ向け（PC、Mac、iOS、Android）に全世界で提供開始する。

これまでビジネス向けの Microsoft Teams を提供してきたマイクロソフトによると、基本的には、ビジネス向けの Teams の機能を一般向けに適用したのが今回発表した個人向けの Teams。個人向けの Microsoft Teams を提供することで「仕事も個人的生活もすべて Teams で完結できる。」（マイクロソフト）ことを目指している。

仕事も個人的生活も Teams で完結できるとはいえ、仕事と個人のアカウントを明確に分離している仕組みをとっている。ファイル・連絡先・チャットなどのあらゆる情報はアカウントごとに分離して保存する形になってはいるが、プロフィールのクリック操作だけで容易に 2 つのアカウントを切り替えることができるようになっている。



個人向け Teams での Together モード例（マイクロソフト）

ビデオ通話では、個人向けでも「Together モード」が利用できるようになっている。これはビデオ通話に

よる疲労を軽減するのを狙いとしてマイクロソフトが開発した機能。通常のビデオ通話体験が、共有された仮想環境での体験へと変わり、家族や友人と同じ場所にいるかのような感覚を得られるという。また、居間やカフェ、さらには夏のリゾート地などの多様な場所においても、ビデオ通話をより楽しく、魅力的なものにすることができると同社では説明する。

Teams のビデオ通話のリンクは Teams を使っていない人も含め誰でも使える。最大 300 人を招待できるため、家族の小さな集まりであっても、大人数が参列するバーチャルな結婚式であっても、あらゆる集まりに使用できる。

チャットでは、リアルタイムの絵文字リアクションや GIF アニメを使って感情を表現した会話を通して友人や家族との通話を楽しむことができる。またそのときにチャットに参加できなくても、後でチャットの流れ（保存される）を読み返して、好きな GIF アニメを使って会話に参加することもできるようになっている。写真、ファイル、ウェブリンクなどを配置したダッシュボードビューも使える。

チャットに人を集める方法は、メールや電話番号を指定するだけ。Teams を使用していない人であっても、SMS を使ってすべてのグループチャットに返信できる。

グループチャット内では、全員で共有できる TO-DO リストを作成し、閲覧・編集、チェック解除、グループ内のメンバーにタスクを割り当てるなどができる。加えて、グループ内で何らかの決定を行わなければならない場合は投票機能を使う方法もある。たとえば、おばあちゃんの誕生日のお祝いをいつ開催するかといったことを決めるときに役立つ。

個人向け Teams は、すでに仕事向けで使用しているのであれば、プロフィールでクリック操作を行い個人アカウントを追加するだけ。使ったことがない場合は同社指定の URL からアプリをダウンロードする。

ビジネス動向-国内

■バイキューブ：イベント DX 事業を展開する Xyvid 社の買収を発表

(5月31日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、イベント DX 事業を展開する Xyvid 社 (ザイビット) (米国・ペンシルベニア州) を買収し、子会社化することを決定した。

今回買収した Xyvid 社は 2011 年に創業、世界最大であるアメリカでバイキューブと同様の「SaaS+Service」モデルでイベント DX 事業を展開している。フォーチュン 500 社企業が主要な顧客層で、業種としては製薬や金融などグローバル企業を中心に導入が進んでいる。

事業収益は既に黒字化し高い成長を実現している一方で、導入済みのグローバル企業からはさらなる発注規模拡大の場合の Xyvid 社の企業規模の小ささへの懸念があるという。しかし、アメリカだけでなく、ヨーロッパ、アジアにある子会社向けにも同様のライブ配信サービス提供を期待する声が高まっている。

このような背景から、Xyvid 社はグローバル企業の傘下入りをしてさらなるビジネス拡大を模索する中で、バイキューブが昨年中期中期事業計画で発表した SaaS+Service という同様のビジネスモデルを展開し、日本やアジアにおいて大きなシェア・規模を持つバイキューブグループの一員になることで、双方が持つ強みを最大化し、事業シナジーが期待できることから、今回の買収に至った。

Xyvid 社はバイキューブグループに参画した後も、経営、マネージメント体制を変更せず、現経営体制を維持することでスピードを落とすことなく、より顧客満足度の高いサービスを提供していくとしている。

今後の展開として、Xyvid 社のグローバル展開する顧客向けに、シンガポールを中心とした東南アジアで

ブイキューブが展開する海外子会社を通じて、Vyvid社のサービスを活用したイベント DX 事業展開を開始する。また、日本市場向けのローカライズを進め、ブイキューブが持つ顧客へのサービス提供を随時進めていくとしている。



Xyvid 社顧客企業例（ブイキューブ）

※Founder & President：David Kovalcik からのメッセージ <https://youtu.be/gihL2HZJo30>

※ブイキューブ関連記事：「中期事業戦略発表会」2020年11月30日号 (<http://cna.jp/text-archive/cna-2020/cna-2020-1130.html>)

ビジネス動向-海外

■シスコシステムズ社：Cisco Webex のハイブリットイベント対応強化の一環で、Socio Labs 社買収意向を発表

(日本法人：5月19日)

シスコシステムズ社 (https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html) (米国・カリフォルニア州) は、Cisco Webex のハイブリットイベント対応強化の一環で、Socio Labs 社 (米国・インディアナ州) を買収する意向を発表した。

Socio Labs 社は、イベント主催者があらゆる規模や形態のリアル、バーチャル、ハイブリットイベントを開催するために必要な機能を網羅した最新のイベント技術基盤を提供している。

昨今のリアルとバーチャルを組み合わせたハイブ

リット型のイベントが一般化している中、今回の買収により、リアル、バーチャル、ハイブリットのイベントでインクルーシブな体験を提供するシスコのビジョンを推進する。

Socio Labs 社により Cisco Webex Events を拡充し、会議・ウェビナー・ウェブキャストだけでなく、大規模なハイブリットイベントやカンファレンスにも対応する。また、イベント前からイベント中そしてイベント後まで継続的に参加者につながることもできる他、ライブ配信、スポンサーシップ、人脈構築、最先端アナリティクスが、Webex のアンケート、Q&A、チャット、リアルタイム翻訳といった機能に加わることになる。

今回の買収取引は、慣習的な取引完了条件に従い、規制当局の承認を得た上で、シスコの2021年度第4四半期に完了する予定となっている。買収完了後、Socio Labs 社の従業員は、シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー ジーツ・パテル氏が統括するセキュリティおよびコラボレーション事業部門の、バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー オマー・タワコル氏が率いる Webex カスタマーエクスペリエンスチームに加わる。

導入利用動向-国内

■JA 共済連、農林中金：組合員・利用者向けのオンライン面談システムに、ベルフェイスのオンライン面談システム「bellFace」を採用

(5月18日)

全国共済農業協同組合連合会 (<https://www.ja-kyosai.or.jp/>) (以下、JA 共済連) と、農林中央金庫 (以下、農林中金) は、組合員・利用者向けのオンライン面談用に、ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>) (東京都渋谷区) が提供

するオンライン面談システム「bellFace」を2021年6月より導入する。

＜参考＞：オンライン面談のイメージ



オンライン面談のイメージ

(JA 共済連、農林中金、ベルフェイス)

これまで、組合員・利用者からの保障・ライフプランサポートなどの相談については、JA 職員が対面でも対応していたが、昨今、地元から離れ遠方に住む方や共働きで日中に面談に時間が作れない、JA に相談したいことがあっても中々面談の時間が取れない、面談の場所が確保できない、といった声があったという。加えて、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、新しい生活様式への対応が必要になっているのも、今回のオンライン面談導入の背景にある。

組合員・利用者は、電話とインターネットがつながる環境を用意するだけで、オンラインシステムを自宅などからいつでも簡単に利用できる。個人情報の登録やアプリのダウンロードは一切不要という。

資料を画面上で共有しながら、対面と変わらないコミュニケーションをとることができる。また、画面上で共有された資料（個人情報など機密性の高い一部資料を除く）は、自身の PC 端末などにダウンロードすることも可能となっている。

2021年6月より全国の JA においてオンライン面談の導入に向けた体制を整備するための取組みを進めている。ただし、一部導入準備中の JA があるため、オンライン面談の取扱いは近くの JA 窓口まで問い合わせ。

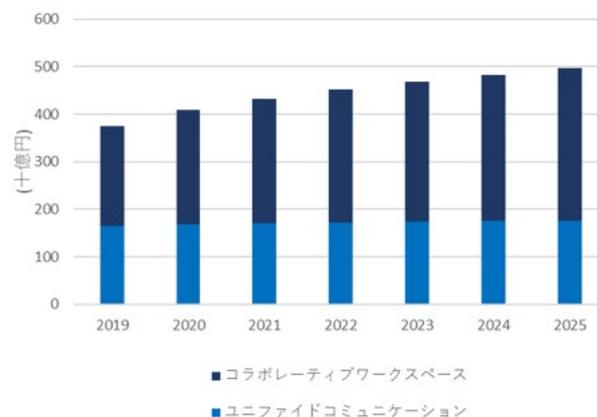
市場動向-国内

■IDC Japan：国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーティブワークスペース市場予測

(5月24日)

IDC Japan 株式会社 (<https://www.idc.com/jp>) (東京都千代田区)は、国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーティブワークスペース市場予測を発表した。

2020年の国内ユニファイドコミュニケーション(UC)/コラボレーティブワークスペース市場は、前年比成長率が8.7%、市場規模(売上ベース)が4,084億7,800万円となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による三密回避の必要性から急速に需要が増加したWeb会議アプリケーション、コンテンツ共有アプリケーションなどのコラボレーティブワークスペース市場を中心に高い成長率で推移した。



国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーティブワークスペース市場予測、2021年～2025年 (IDC Japan)

2021年以降の同市場の推移について、リモートワークの適用範囲拡大、高度化、Web会議をはじめとした非接触ソリューションに蓄積されたデータ分析/活用需要の拡大により、引き続き堅調に成長すると同社では予測している。

その結果、国内 UC/コラボレーティブワークスペース

ス市場は2020年～2025年の年間平均成長率4.0%で推移し、2025年には4,968億1,500万円になるとIDCでは予測している。

そのうち、国内UC市場は2020年～2025年におけるCAGR 0.9%で推移し、2025年には1,760億4,100万円になると予測している。また、国内コラボレーティブワークスペース市場の2020年～2025年におけるCAGRは6.0%で推移し、2025年には3,207億7,400万円になると予測している。

今回の発表は同社が発行した、「国内ユニファイドコミュニケーション／コラボレーティブワークスペース市場予測、2021年～2025年」(<https://www.idc.com/jp/research/report-list?search=JPJ46565621&document=JPJ46565621>)にその詳細が報告されている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（6月）

「徹底解説！失敗しないウェビナーツールの選び方」「ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！スマートグラスオンライン体験セミナー」「Web会議だけではもったいない！Zoom活用術をご紹介」「Zoomと商談特化ツールはどう使い分ける？」など

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（6月～7月）

「Webex Meetingsの基本」「Webex Meetingsの新機能」「Webex Eventsの概要、新しい機能のご紹介」など
(録画も視聴できます)

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jpサイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNAレポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2021年5月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp